

文部科学省 中小企業イノベーション創出推進（SBIR フェーズ3 基金）事業 宇宙分野（事業テーマ：スペースデブリ低減に必要な技術開発・実証）のステージゲート審査結果について

令和8年10月2日

文部科学省

一般社団法人低炭素投資促進機構

令和4年度補正予算 中小企業イノベーション創出推進事業(文部科学省分)の宇宙分野(事業テーマ：スペースデブリ低減に必要な技術開発・実証)について、外部有識者から構成されるステージゲート審査委員会において、以下の通り、予算の追加配分(注)を決定しました。

(注)事業目標が確実に達成されるとともに、本事業の成果を最大化するため、臨時のステージゲート審査委員会で審査の上、事業フェーズ2及び3を対象に予算の追加配分を実施。

○事業テーマ『スペースデブリ低減に必要な技術開発・実証』

- ・ステージゲート審査件数:3件
- ・追加配分の決定件数:3件
- ・審査結果：書面審査、プレゼンテーション審査を実施。（詳細は別添1、審査委員は別添2の通り）

事業テーマ：スペースデブリ低減に必要な技術開発・実証

ステージゲート審査結果

代表スタートアップ：株式会社アストロスケール	
事業計画名：大型の衛星を対象デブリとした近傍での撮像・診断ミッション	
フェーズ 1 事業期間：～令和 6 年 12 月末	フェーズ 1 交付額上限：26.9 億円
フェーズ 2 事業期間：～令和 8 年 12 月末（予定）	フェーズ 2 交付額上限：63.1 億円
フェーズ 2 追加配分額：2.5 億円	
代表スタートアップ：株式会社 Pale Blue	
事業計画名：人工衛星の軌道離脱及び衝突回避のための超小型水イオンスラスタ およびホールスラスタの開発・実証	
フェーズ 1 事業期間：～令和 7 年 9 月末	フェーズ 1 交付額上限：15.8 億円
フェーズ 2 事業期間：～令和 8 年 12 月末（予定）	フェーズ 2 交付額上限：19.6 億円
代表スタートアップ：株式会社 BULL	
事業計画名：衛星等のデブリ化を防止する軌道離脱促進装置の開発・実証	
フェーズ 1 事業期間：～令和 7 年 6 月末	フェーズ 1 交付額上限：14.7 億円
フェーズ 2 事業期間：～令和 9 年 3 月末（予定）	フェーズ 2 交付額上限：13.1 億円
フェーズ 2 追加配分額：2.6 億円	

※上記の掲載順は、応募申請順に基づきます。

※本ステージゲート審査において、3社に対して追加配分を決定し、そのうちフェーズ 2 の追加配分額を上記のとおり決定しました。フェーズ 3 の追加配分額は、フェーズ 3 への移行に係るステージゲート審査の結果とともに公表します。

(別添2)

事業テーマ：スペースデブリ低減に必要な技術開発・実証
ステージゲート審査委員会 委員名簿

(敬称略、五十音順)

(委員長)

尾崎 典明 エスファクトリー 代表
一般社団法人 TX アントレプレナーパートナーズ 副代表理事

(副委員長)

五百木 誠 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 准教授

(委員)

北澤 知文 ジャフコグループ株式会社 パートナー

杵淵 紀世志 名古屋大学大学院 工学研究科 航空宇宙工学専攻 准教授 (※1)

白坂 成功 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 委員長/教授

西村 竜彦 Frontier Innovations 株式会社 代表取締役社長 ジェネラルパートナー (※2)

(※1) 利害関係を有するため、株式会社 Pale Blue の審査には参加していない。

(※2) 利害関係を有するため、株式会社 BULL の審査には参加していない。